

2019

ぶうげん

びりあ



No.312

ホームページ <http://www.hahashouchi-logasawara.ed.jp/>

Que Sera Sera

校長 新妻 茂

長い夏休みが終わりました。

9月1日は「防災の日」です。これは1923年（大正12年）に発生した関東大震災にちなんだものです。また、9月1日前後は台風の襲来が多い二百十日にあたることから「日ごろから災害にそなえましょう」という戒めにもなっています。これとは別にここ数年9月1日前後に懸念されていることとして、子供の自殺問題があります。長い夏休みが終わって学校が始まる9月1日前後が恐怖でたまらないという子供もいるのです。

7月8日の朝礼の時に、7月5日に所沢で中学2年生が同級生に刺されて殺害されたという事件と7月3日に岐阜市の中学3年男子がマンションから転落したという事件（いじめや暴力を受けていたという報道もあります。）を受けて、あらためて命の大切さについて考えて欲しいと児童生徒に訴えました。そして、「自分の命を大切にすることを希望という。他人の命を大切にすることを平和という」と話しました。

7月16日の朝礼の時には、主人公がチャーリーブラウン、犬のスヌーピーという「ピーナッツ」の話をしました。スヌーピーは、犬である自分の欠点さえもおもしろがります。河合隼雄先生はスヌーピーのあり方を通して、「きのうも失敗、きょうも失敗だけどそれにめげないで、むしろ、そういう自分をおもしろがっていけば気も休まってきます。そういう力、才能があれば、人間は簡単にはくじけません」（河合隼雄「誰だってちょっと落ちこぼれ」より）と書いていることを紹介しました。さらに、最近は自己責任を強調する風潮があり、「助けて」と上手に言えない人が増えています。「人に助けてもらうことはいいことだ」（援助希求）という意識を広げていくことが大切だという話もしました。

東京都教育委員会では平成30年2月に「SOSの出し方に関する教育」を推進するための資料を公開しています。何かのおりに見ていただければ幸いです。

ところで、今年の5月13日に歌手のドリス・デイさんが亡くなりました。昔、彼女が「ケ・セラ・セラ」という曲を歌っていました。歌詞の内容は、「私が小さいころ美人になったり、金持ちになったりできるかなとママに聞いたら、明日のことなんか誰にもわからない。気にしてもしょうがない。なるようになるわと言われた。私が大人になって子供に同じようなことを聞かれた。私は、明日のことなんか誰にもわからない。気にしてもしょうがない。なるようになるわと答えた」というものです。

「ケ・セラ・セラ/Que sera sera」というのはスペイン語に由来するフレーズなのだそうです。日本語に訳すと「なるようになる」という意味です。「なるようになる」というのはいい加減に生きるということではありません。不安や心配で悩んでいる時には、「なるようになるさ」と心の中で叫ぶことによって、少し安心できるし、考えを違った方向へ向けるきっかけにできるということなのだろうと思います。単に「何とかなる」ということではなく、「くじけずに努力すれば、いつか良い未来がやってくる」という意味なのでしょう。さて、児童生徒のみなさん、いろいろな思いもあるでしょうが、“Que sera sera”と叫んで2学期をスタートするとしましょうか。

父母学習交流会（小学校 6月30日～7月2日）

小学校担当

今年度の父母学習交流会は4・5・6年生の児童15名が参加しました。1日目、学年ごとに校外学習に行きました。4年生は海洋センター、5年生はねこ待合所、6年生は戦跡見学です。どの学年も多くのことを学ぶことができ、今後の学習に生かされることでしょう。夜は6年生のレクがとても楽しく、盛り上がりました。

2日目は、小笠原小学校との交流です。初めて参加する4年生は教室いっぱいの子供たちにびっくりしたようですが、友達がたくさんできてうれしそうでした。5年生は体育で自分からチームの仲間に声をかけるなど積極的にがんばっている姿が見られました。6年生は3回目の交流なので、「久しぶり！」という雰囲気楽しく1日過ごせたようです。

帰島の日、小笠原小の子供たちや先生方、母島小中出身の懐かしい先輩たち（宿にも会いにきてくれました）が大勢見送りに来てくださいました。

小笠原小学校の皆さん、父島でお世話になった皆さん、母島で送り出してくださった皆さんのご協力のもと、この行事を無事に終わることができました。貴重な経験や人とのつながりは子供たちの大きな財産です。ありがとうございました。

父母学習交流会（中学校 7月10日～7月12日）

中学校担当

1日目、父島到着後すぐに小笠原中の部活動に参加しました。大会が近いバドミントン部やサッカー部は父島、母島の枠を越え“小笠原の中学生”として懸命に取り組みました。部活動のない生徒は宿舎で自習のため、個人個人が自分で用意した教材に集中して取り組みました。

2日目、対面式後の1時間目、1年生は小笠原の戦跡を通じて戦争や平和についてグループで考え、母中1年生が各グループの代表として発表しました。2年生は今後迎える硫黄島訪島に向けた事前学習として、訪島の意義をグループで考え、発表しました。3年生は今後の進路に向けて、小笠原中の生徒は上級学校調べについて、母島中の生徒は上級学校・職場訪問についてそれぞれ1人ずつ発表しました。2～4時間目は学年の枠を越え、17のグループに分かれて『顔はめパネル』を作成しました（右上の作品はグランプリ受賞作品）。どのグループも一緒に過ごす時間を重ねたことで、中学生らしい交流の様子が見て取れました。5、6時間目は体育館で吹奏楽でしたが、突然のスコール（これが断続的に続きました）に襲われたため、パート練後は2か所に分かれてそれぞれで合奏しました。放課後、吹奏楽部と美術部は部活動があったため、徐々に打ち解けながら懸命に取り組みました。バドミントン部は近くの公園で基礎トレーニングを行い、サッカー部は宿舎で自習しました。

小学校から数えると最大6回経験します。経験を重ねるごとに逢った小笠原の仲間と関係を深め、大人になってもいつかどこかで懐かしい思い出として語り合うことが出来れば幸いです。



7月5日（金）海上保安庁に協力して頂き、海水泳を行いました。母島の子供たちにとって海は身近なもので、よく遊ぶ場所でもあります。しかし、海ではいつ事故に巻き込まれたり、救助をする立場になったりするかもしれません。その時に、いかに冷静に対処すればいいのかを海水泳で学ばせていただきました。

自己救命では、背浮きの練習や自分を浮かせるためには様々な道具があるということを学習しました。海で流されてしまった際、「浮いて待つ」ということが、助かるために大切なことだそうです。

他者救命では、もし溺れている人を見かけても、飛び込んで泳いで助け出そうとしてはいけないことを確認しました。自分が水に入るのは、最後の最後の方法だそうです。まず、助けをもとめる、次に浮き輪などを投げるといった方法を取ることが、溺れている人を救い、自分を守るということにも繋がるそうです。

今回の学習を通して学んだことをしっかり生かし、海で安全に過ごせるように指導していきます。

アオウミガメ学習の報告会と放流会

7月16日（火）に、アオウミガメの学習の報告会とアオウミガメを海にかえす放流会を行いました。

5月の下旬に、アオウミガメの卵の採卵・移植体験を行い、約2か月、子供たちはお世話が続けました。毎朝の土の温度の管理にその記録など、大切にお世話をしました。また、アオウミガメについてのお話を聞いたり、自分たちで調べたりして、新聞にまとめることもしました。

報告会では、自分たちが調べた中で、特に伝えたいことを決め、グループに分かれて報告しました。アオウミガメと接する際の注意点、アオウミガメの生存率、カメの食べ物、ごみの問題、アオウミガメの天敵などについて、劇やクイズにするなどの工夫をして発表しました。大勢のお客さんの前での発表に緊張もしていたようですが、終わった時には全員やり切った表情を見せてくれました。放流会では、自分たちで子ガメに名前をつけ、海に優しくかえしてあげました。自分たちでお世話をしてふ化した子ガメが海へ旅立つのを見送り、感慨深い放流会になりました。

今回の、アオウミガメの飼育・放流の学習を通して、子供たちは命のたくましさ学びました。また、生き物を育てることの難しさや楽しさも学びました。今回学んだことをしっかりと振り返り、今後の学校生活でも生かしていけるようにしていきます。

9月の生活指導

生活目標

「規則正しい学校生活を送ろう」

- ・自分の生活を見直そう。
- ・あいさつをして、気持ちのよい学校生活を送ろう。
- ・夏休みに取り組んだ学習の成果を発揮しよう。

安全指導 9日(月)

「地震・津波などの災害時における安全確保」が重点指導目標です。

地震・津波などの災害時に起こりうる危険性を考え、安全確保のために必要な事柄について指導します。また、災害時に自分でできること、協力してみんなのためにできることについて話し合い、いざというときに実行できるように指導します。

避難訓練 2日(月)

村の防災訓練に参加し、地震発生による津波の来襲を想定した避難訓練を行います。津波の際の避難経路や集合場所を確認させ、診療所までの最短距離を考え、校庭を出てC線を走って避難させます。

2学期の主な行事予定

- ◆学芸会
11月2日(土)
※振替休業日11月4日(月)
- ◆日曜学校公開・道徳授業地区公開講座
12月1日(日)
※振替休業日12月25日(水)
- ◆ロードレース大会
12月6日(金)
- ◆終業式
12月24日(火)



平島校外学習(小4,5)・移動教室(中1)について

6月に予定されていましたが、平島の校外学習(小4,5)と移動教室(中1)の日程が下記のように決まりました。

- 校外学習 (小4,5) → 9月 5日(木)
 予備日 9月 6日(金)
 9月20日(金)
- 平島移動教室(中1) → 9月12日(木)
 ~13日(金)
 予備日 9月18日(木)
 ~19日(金)

交通安全教室

9月10日(火)3、4校時に交通安全教室を行います。校庭の特設コースを実際に自転車で走行しながら正しい交通ルールを学びます。

9月の主な行事予定

1	日		16	月	敬老の日 〈敬老の日の集い〉
2	月	始業式 避難訓練 発育測定・視力検査(全学年) 教育実習始	17	火	朝礼(保健指導) 父島移動教室始(小6) ↑
3	火	思考力チャレンジ(小) ユメセン(小5,6)	18	水	平島移動教室始③(中1) SC在島
4	水		19	木	平島移動教室終③(中1) 父島移動教室終(小6) ↓
5	木	平島校外学習(小4,5)	20	金	平島校外学習③(小4,5) 石門校外学習③(中3)
6	金	平島校外学習③(小4,5) 移動教室説明会(小6)	21	土	PTA プール③①
7	土		22	日	
8	日		23	月	秋分の日 PTA プール③②
9	月	朝礼(安全指導) 石門校外学習(中3)	24	火	中朝礼
10	火	漢字チャレンジ(小) 交通安全教室(全)	25	水	
11	水	プール納め(小) 行事前検診(中1) 英語チャレンジ(中)	26	木	色覚検査(小1・中1)
12	木	平島移動教室始(中1) プール納め③(小)	27	金	西浦校外学習(小3)
13	金	平島移動教室終(中1) 行事前検診(小6) 教育実習終	28	土	
14	土	PTA プール開放①	29	日	父島移動教室始③(小6)
15	日	PTA プール開放②	30	月	